

川東の里だより

2005.10 No.81

発行者
伊藤 義則

発行所

総合施設「川東の里」

きたみ学園

きたみ学園成人部

☎ 24-2701

川東学園 ☎ 24-3030

友楽里・風楽里

☎ 23-9591

フレンズ ☎ 22-6395

北見市川東226番地

印刷所

(有)サンケイプリント社



去る、九月一日、北見市内大町の国道沿いに「豆ちゃん豆腐店」がオープン致しました。一階は店舗、二階は豆腐工場、三階は事務室になっています。

当日の開店のセレモニーでは、神田市長を始め、亀井理事長、理事各位、伊藤施設長などが、出席しさわやかな雰囲気の中、オープカットが行われ、その後、前多店長の招きにより大勢のお客さんが店内へ入られ、盛況な賑わいで先幸の良い初日を迎えることが出来ました。

これも一重に、日頃より川東の里を支えて下さつておられる方々のお蔭だと思いました。

なあ、この日御来店下さった皆様には、先着順ではありましたが、紅白豆腐をお持ち帰りいたしました。

どうぞ今後共、末長く、「豆ちゃん豆腐店」を御愛顧お願い申し上げます。

端野町川向にある川東の里農場では約八十名の施設利用者さんと二十名の職員が、共に楽しく働き、健 康野菜・ドライフラワー・露地栽培草・自然鶏卵・安全豚肉などの農産物を生産しています。毎日、利用者さんが自然あふれる農場の大地で伸び伸びと活動し、その生産する農産品は食品安全をモットーとしていて、農産品をさらに安全に二次加工して付加価値を与える仕事がパンとハム・ソーセージ製造であります。この二つの授産作業には約四十名の方が働き、利用者さんの福祉的就労の場として重要な役割を担っています。しかし、川東の里の各施設には約二百名をこえる方が所属している状況にあり、皆さんが必要とする就労の場は不充分なの

特集 豆ちゃん豆腐店

『豆ちゃん豆腐店』の店舗は『川東の里・生産物直売店』でもあります。

豆ちゃん豆腐店ができるまでに

が現状です。

原材料を農場で生産し二次加工ができる仕事が他にないものかと模索していたところ、豆腐作りのアイデアが出てきました。原料の大豆は自然農場で生

産でき、大豆に含まれるイソフ ラボンやレシチンは今後増加する中高年の生活習慣病対策に最適でもあり『これは、いける』と、早速、試作製造を始めたところです。その後、幸いにも赤い羽根共同募金より豆腐製造機器の配分金を受けることができ、豆腐店建設への夢が加速されることとなりました。

その後、多くの関係者各位のご努力とご支援により、豆ちゃん豆腐店が実現しました。

その中で一番大きな要因は、四十年続いた阿部豆腐店を廃業してまで、私達にご協力とご支援をしていただきました、阿部豆腐店店主の阿部茂様と奥様の暖かいお気持ちが大きかつたと思っています。心から感謝申し上げると共に、阿部豆腐店の名聲と伝統をけがさぬよう豆ちゃん運営に精進致す決意でいます。

通所施設支援課長
村田 勉



▲工場(2F)



▲店舗(1F)



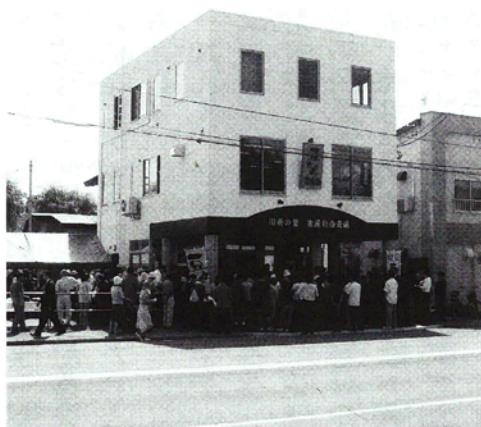
▲豆ちゃん製品勢揃い



▲販売員

テープカットでオープン

平成十七年九月一日、木曜日、午前十時川東の里村田課長の開式の言葉により『豆ちゃん』豆腐店オープニングセレモニーが開始されました。この瞬間、豆ちゃん豆腐店が産声をあげたのです。式は、めぐみ会龟井理事長、神田北見市長、川東の里父母会佐藤副会長による挨拶に始まり、そしてセレモニーのメインである『豆ちゃん』の名づけ親が紹介されました。「皆に親しみやすい名前をつけました」名づけ親は、小学生の女の子でした。「その通りの親しみやすい名前ですね」前多店長が満面の笑みでこう答え、名づけ親から我が子に名前を授けられた父親のような表情をしていました。



支援員 安 念 護
通所援産フレンズ

その後、式は阿部工場長と従業員による看板除幕、川東の里伊藤施設長による分場建設についての報告、神田市長、亀井理事長、古川建設委員長、伊藤施設長、工事を請け負った藤田組社長によるテープカットが行われ、開店の言葉と共に打ち上げ花火が上がり、豆ちゃんはオープンしたのです。空も豆ちゃんの開店を祝うかのごとく快晴であり

午後からの販売に間に合わせるほど賑わいでした。留辺蘿そば会の協力による豆腐そばセントの人気も人々で用意した五十食があつという間に完売致しました。皆様のお蔭で豆ちゃんのオープニングは大成功のうちに終了する事が出来ました。誠にありがとうございました。豆ちゃんの歩みは、始まつたばかりでありこの先、多くの試練に向かいながら豆ちゃんの豆腐店は、お客様に愛される店を目指し、その歩みを止めずに進みます。今後とも皆様の応援を宜しくお願い致します。

九月一日(木)から四日(日)の四日間、川東生産物直売所、豆腐店「豆ちゃん」のオープニングセールが行われました。この四日間、本当にたくさんのお客様に御来店頂きまして、心より感謝申し上げます。顔なじみのお客様はもとより、ご近所のお客様、新しいお客様と色々なお客様に支えられ、またこんなにもたくさんのお客様がこられる事に少々びっくりしました。屋台の方も留辺蘿そば会の全面的な御協力のおかげで、手打そばも行われ大盛況でした。

一番大切なのはセールが終わってからの平日営業で、どれだけお客様が来てくれるかだと思います。常に良い製品を店頭におき続ける事を心がけ、これらも良い店作りを目指して、頑張つて行きたいと思います。

「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」と大きな店員の声を受けて、父母としての利用はもとより宣伝をして売上拡大に協力しなければと思いました。

沢山のお客様に来て頂き盛況でありました。用意した豆腐は午前中で完売し、急遽製造を行いました。

四日間の記念セールを終えて

九月一日(木)から四日(日)の四日間、川東生産物直売所、豆腐店「豆ちゃん」のオープニングセールが行われました。この四日間、本当にたくさんのお客様に御来店頂きまして、心より感謝申し上げます。顔なじみのお客様はもとより、ご近所のお客様、新しいお客様と色々なお客様に支えられ、またこんなにもたくさんのお客様がこられる事に少々びっくりしました。屋台の方も留辺蘿そば会の全面的な御協力のおかげで、手打そばも行われ大盛況でした。

通所授産施設フレンズの手作り豆腐店「豆ちゃん」が九月一日に開店したことは利用者の父母会としても大変うれしく思います。

今日の経渃情勢化では、弱者である障がい者等の就労場所の確保が非常に困難となっている中で、川東の里ではひとりでも多くの就労の場所をつくりだすため、昨年から準備を進めてきた新規事業としての「豆ちゃん」豆腐店を開店して頂きました。めぐみ会理事会や伊藤総合施設長を始めとする職員の皆様の日夜に渡る努力に心から感謝申し上げます。

お店に行つて

支援員 工藤嗣巳
通所授産フレンズ

川東学園父母会副会長

佐藤幸治

「豆ちゃん」 豆腐店のこれから

『豆ちゃん豆腐店、川東の里生産物直売店』は、オープニングセールから現在に至るまで、多くの方々に支えられ、また、阿部豆腐店からのお得意様をはじめ、大勢のお客様にご来店いただき、無事、開店二ヶ月を迎えることができました。

現在の状況に甘んじることなく、今後も積極的に販売活動を進めていきたいと考えています。

まず、そのひとつとして、移動販売の実施があります。移動販売に使用する販売車は、冷蔵車をベースに特殊な改造を施した特注のため、九月中旬の予定であつた納期が遅れ、十月になりました。そのため、阿部豆腐店が販売してきたルートを受け継いだ移動販売を十月中旬より行っています。移動販売が軌道に乗りましたら、販売ルートの拡大や販売車の増車も視野に入れ、実施していきたいと考えています。

また、当店自慢の豆腐や揚げ、こんにゃく製品を一人でも多くいます。

通所授産フレンズ分場 店長

前 多 智哉

豆ちゃん豆腐店 工場長

阿 部 茂

毎日、一緒に働く事が楽しいです。

豆ちゃん豆腐店 従業員

増子徹

の方に食べていただきたいと、営業活動を行い、納品や配達先の開拓に力を入れていきたいと考えます。

加えて、店舗の品揃えやディスプレイ、店内の清潔、衛生、

お客様に対するスタッフ、従業員の対応等について充実をはかり、来店されたお客様により満足していただけるよう努めてまいります。

販売戦略も重要ですが、売り上げを伸ばすことばかりにとらわれず、軸足である製造部門において、阿部工場長を中心に安全部でおいしい製品をお客様に提供できるよう、妥協せずに取り組んでいきます。原材料、衛生面における配慮はもとより、「半端な製品は提供しない」信念を徹底していきます。

開店したばかりの『豆ちゃん豆腐店、川東の里生産物直売店』ですが、従業員十名とスタッフが力を合わせ、地域の皆さんに愛される店を目指し、努めてまいります。

一緒に働いて

四月から施設の人達と一緒に働き始めました。

最初は、仕事を指示しても出来ない事が多くて不安に思いましたが、毎日、仕事を教えていくうちに、少しずつ覚えて一生懸命働いている姿を見て安心感がでてきました。

そして、九月のオープニングには、ほとんどの人達が、仕事を覚えてくれたので、手際よく事が運び、お陰様で品物が切れ事もなく大勢のお客様に買って頂き、たいへん嬉しく思いました。施設の人達は、皆、素直で真面目、自分の仕事は責任を持っています。

豆ちゃん豆腐店で働いて、つらい時もあるけれども、お客様の笑顔を見ていると、疲れもふき飛びます。これからも豆腐、アゲ、コンニャクなどをつくり、売っていきたいと思います。最後に、お客様に、愛され店にしたいと思っています。

新しい豆腐店で働いて

四月から八月の五ヶ月間は養豚班、園芸班、きのこ班、小動物班、パン作業班、通所授産施設フレンズで、研修をしてきて、色々勉強になりました。

今、「豆ちゃん豆腐店」で、その成果を発揮しています。店に来るお客様に、「この野菜どうやってつくっているの?」と聞かれたら説明しながら、お客様と話しをしながら仕事をしています。

豆ちゃん豆腐店で働いて、つらい時もあるけれども、お客様の笑顔を見ていると、疲れもふき飛びます。これからも豆腐、アゲ、コンニャクなどをつくり、売っていきたいと思います。最後に、お客様に、愛され店にしたいと思っています。



くらしネットオホーツクが オープンしました!

網走圏域障がい者総合相談支援センター、「くらしネットオホーツク」が七月四日、北見市内の四条西三丁目・タニイビル一階にオープンしました。

北海道が平成十七年度の新障がい者支援施策として、全道十四支庁に障がい者総合相談支援センター設置を計画し、現在十二支庁のセンターが活動を始めています。網走圏域では、網走支庁による公募、ヒヤリングを経て、社会福祉法人めぐみ会が事業を受託、本体法人からの独立性を保つ形で、北見市内中心部に事務所を開設しました。

くらしネットオホーツクでは、現在二名の専任スタッフが二十四時間、三六五日体制（電話受付可、事務所は月～土、九時～十八時開設、日・祝日休み）で管内全域からの様々なご相談に対応しています。年齢や障がい種別を問わず、ご本人、ご家族はもとより、関係機関、地域の様々な立場の皆様、住民の皆様からの、どのようなご相談でも

お受けします。
ご要望に応じて、家庭訪問、機関訪問、サービスの利用調整、各種制度活用のための申請のお手伝い、ケアプランの作成、ケア会議の開催、研修会支援なども行いますので、ぜひ、ご利用ください。

オープンから三ヶ月を経て、相談件数は百二十件あまり、〇歳から八〇代までの皆さんの方々なご相談が寄せられています。最近は介護保険ご利用の高齢者の方からのご相談もあり、スタッフは地域の様々な専門機関の皆さんとの連携をモットーに、協力いただきながら活動しています。今後も、圏域内のさまざまなかたのどんづらお年寄りまですべての相談が得られるように、ケア計画を域立てるなど、福祉・保健医療・教育・就労などのさまざまなサービスの調整を行います。（ケアマネジメント）個人情報については、秘密を守ります。

くらしネットワーク作り、身近な地域での相談窓口づくり、障がい者ケアマネジメントの実体化などの大きな課題を、地域の皆さん一緒に考え、知恵と力を出し合って共に進んでゆきたいと思っています。

くらしネットオホーツクに、ご意見、ご相談を、どうぞお寄せください。

松井 恵美

■情報発信

- 地域の様々なサービスや仲間の暮らしを紹介するなど、情報発信の基盤となります。
- ご家族や支援者のみなさまに向け研修会を企画・実施します。

■地域ネットワーク

- オホーツク地域の関係機関・支援者のみなさまと連携し、よりよい地域づくりへの「コードネイター」をいたします。
- 人と情報の出逢いの場として気軽に集まるサロンのような場所を提供します。
- あなたの町で、あなたらしいくらしを見つけるために生活体験の場づくりを応援します。

■相談支援

網走圏域障がい者総合相談センター

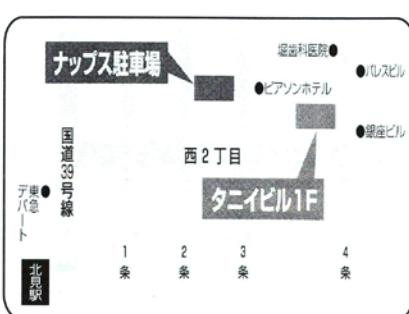
くらしネットオホーツク

ひとりひとりの大切なあなたが…

望むた生活も選べるために 地域ご安心してあたまに暮らせるために ひとりの人として尊重され自信もって輝けるために



～いつも対等な関係で地域の仲間が応援します～



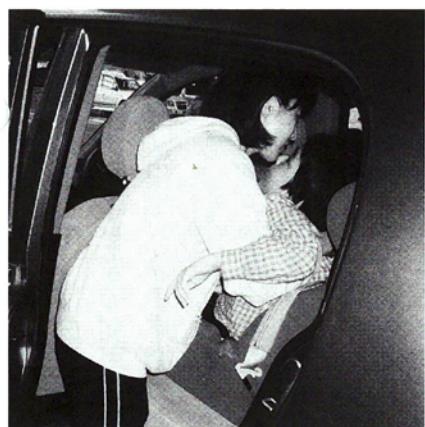
児童居宅介護

子どもたちの笑顔に

元気をもらつて

平成十五年度の秋から、児童居宅介護のホームヘルパーとして仕事をさせて頂いてます。発足当初は、若い志願かおりさんと二名で松井さんの指導の下に、慣れない車椅子の操作や始めて出会う言葉のないお子さんの対応に戸惑いながらも、親御さんや職員の方の御指導を頂き、なんとか今日まで致つております。

現在は、職員の道端一沙さんをはじめ、国府智子さん、杉山智春さん、中條小百合さん、辻本修子さん、越智寿子さん、送迎を担当して下さっている鈴木幸雄さん、私も含めて合計八名で、活動しています。一週間の利用件数はおよそ三十件から四十件にのぼり、学校が長い休みに入ると件数も時間も長くなり、特に今年の夏休みは、利用者さ



サービス提供責任者 吉澤 敦子
きたみ学園居宅介護事業所

担当者



佐々木 卓



真鍋 幸江

連絡は、川東の里「友楽里」〇一五七一一三一九五九一

川東の里でも、二〇〇三年に北海道障害者職業センターの委託を受け、協力機関型のジョブコーチ二名による、就労支援を行っています。

友楽里 支援員 真鍋 幸江

ジョブコーチ支援 Q & A

Q. どんな人が利用できますか？

A.

主に知的がい害、精神障がいのある方で、職業センターでの相談などの結果、ジョブコーチ支援が必要と認められる方です。

例えば

- ・仕事が覚えられるかどうか、自信がない
- ・新しい職場になじめるかどうか心配
- ・前の職場でうまくいかなかった。同じことを繰り返したくない
- ・今の職場を続けたいが、仕事ができないと言われ、難しい

Q. 期間はどれくらいですか？

A.

1~7ヶ月の範囲で1人1人の状態や、課題に合わせて決めます。

だいたい3~4ヶ月が目安になります。

Q. お金はかかりますか？

A.

ジョブコーチの派遣は無料です。

利用者に対しては、実習中(雇用前支援)は無給です。

んの御希望が多く、お盆休みもなくフル活動しました。主な仕事内容は、分校や市内の小学校の障がい児学級に通う放課後の余暇支援(プール、運動、買い物等)、リハビリへの付き添い、就学前のお子さんのマザーズホームの付き添いや入浴昼食介助、家事支援などを行つています。

ジョブコーチ支援とは
障がい者・事業主の方に対しても就職できるように、また長く働き続けられるようにきめ細かな支援をすることです。

就職できるように、また長く働き続けられるように

ジョブコーチ支援ってな～に？

夏祭り 8月5日



▲わあ きれい!!



▲まつりだ まつりだ さあ踊ろう

運動会 9月10日



▲大きな口をあけてあーん



▲たくさん入ったかなあ



生産フェア 9月18日



▲肉にはやっぱりビール

▲いらっしゃいませ
卵はいかがですか

ミニバレーを終えて

十月二十日に「第二十一回道東知的障がい施設協会交流ミニバレー大会」が、北見道立体育センターにて行われました。

今大会には、道東より十五施設、一四三名が参加し、熱い闘いを繰り広げました。また、プレーをしている選手達はとても輝いており、熱気とともに大きな感動がたくさんありました。

今大会は、川東学園が主管施設として開催準備を進めてきたこともあり、川東学園・きたみ学園・授産施設フレンズの各施設から選手を集め、「川東の里」として大会に参加することになりました。

初めての練習では、サーブが入らず、相手のサーブは返せないと試合になるのか不安一杯のスタートでした。



績を収めました。
選手一人一人の可能性と努力することの重要性を改めて実感しました。

最後に、選手をはじめとする全ての大会関係者の御協力のおかげで無事に大会を終了できましたことに大会担当として厚く御礼申し上げます。

川東学園 支援員

若沢勇樹

皆様からのたくさんのご厚情
ありがとうございました。

編集後記



△寄付金

総合施設「川東の里」
施設整備をすすめる会

会長 石本重夫 様
北見信用金庫南大通支店 支店長 武藤 覚 様

△洋食料理をご馳走して頂きました
全日本司厨士協会北見支部 支部長 梶井敏幸 様
△スターウォーズ慰問 虎谷秀人 様

△寄贈品

北見市ことぶき大学学生自治会 会長 岩渕久幸 様

北見交隣会 会長 菊地達 様

北見友の会 代表 長尾和佳 様

石毛敏子 様
武田静雄 様
椿原稔 様
ギフトハウス 様

福山岩太郎 有刀田花翠園
飯田鋭市 飯田花翠園
和泉千鶴 様

上葉局 様

△豆ちゃん豆腐店開店に際し
お祝いを頂きました

伊藤常男 様

大黒谷妙子 様
藤田民夫 様

とむての森 様
トヨタレンタリース北見 様

(株)東部第一 様
大谷商店 様

阿部真浩 様
阿部茂 様

北見信用金庫南大通支店
支店長 武藤 覚 様

今年も気がつけば、早くも秋を迎えていました。月日の流れは本当に早いものを感じる今日この頃です。

四月に始業式を行い、夏本番には学園を代表する大型行事の親子旅行やキャンプを行い、対外行事では、夏祭りの実施がありました。

そして、秋の九月には「川東の里運動会」、収穫祭。また、開催当日、天候の不順にも関わらず無事に実施することができた市民を対象とした「生産フェア」へと続きました。今月至つては、道東地区における知的障がい施設交流ミニバレー大会の開催。川東の里総力を挙げての取組みでした。係りとして頑張つて下さった職員の皆様、本当に御苦労さまでした。

この便りを担当する私達も気がつけば、早くも第二号を手掛けていました。ちなみに次回の編集を考えると、また悩みます。

(真田、大村)